



外務省・文部科学省 共催シンポジウム

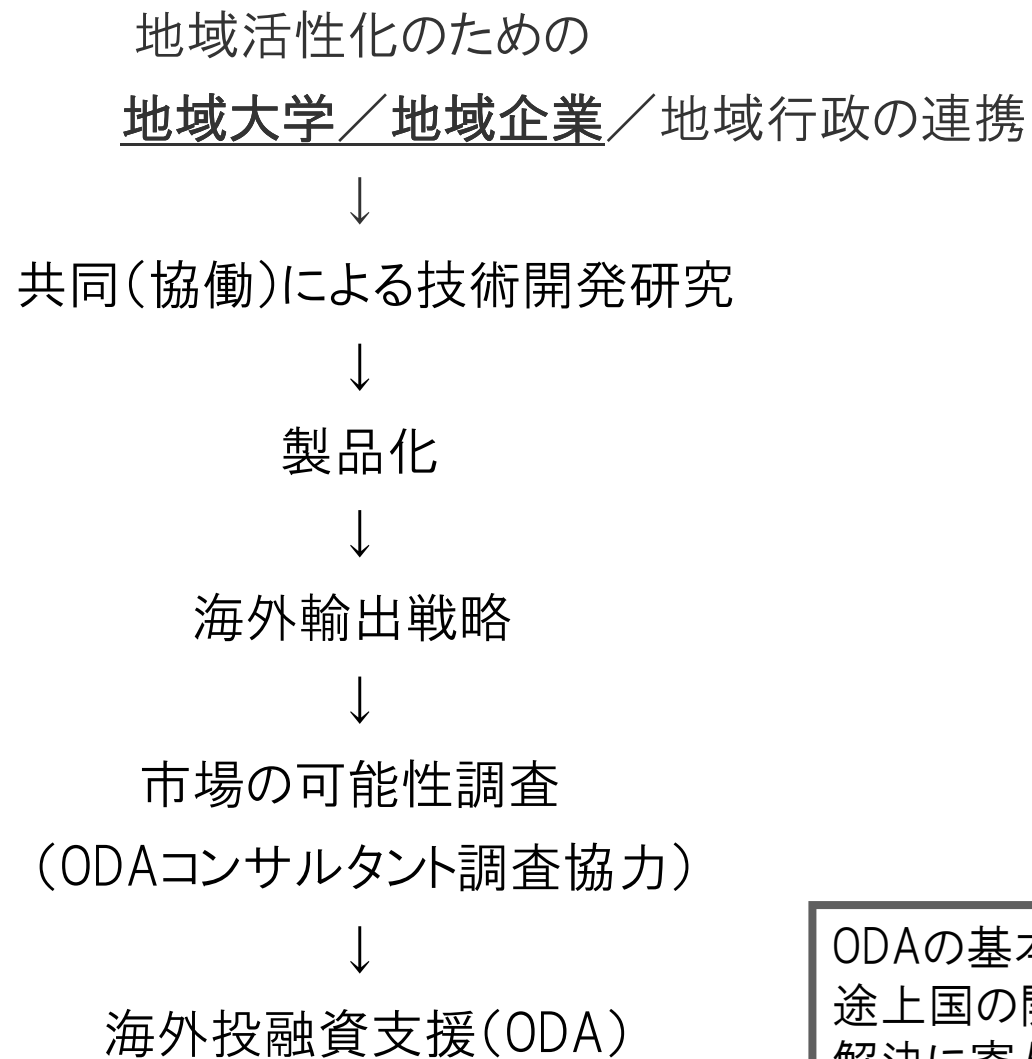
大学とODA ～援助の担い手の拡大に向けた新たなフロンティア～

大学が地域を巻き込む「パッケージ型大学協力事業」 ODA対象地域への大学の「知」の出口戦略を探る

2012年 7月 24日

株式会社 国際開発ジャーナル社
代表取締役・主幹 荒木 光弥

1 パッケージ型大学協力モデル

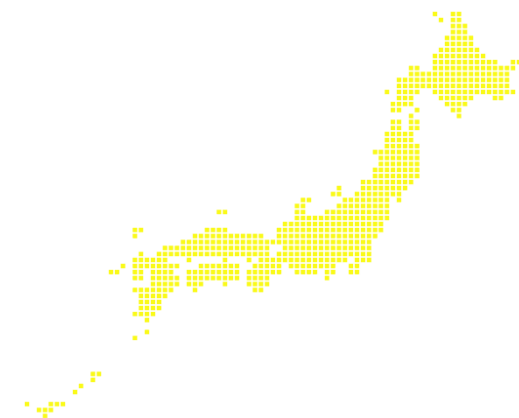


ODAの基本条件は
途上国の開発課題
解決に寄与すること



2 途上国での有望開発分野(イメージ例)

- (1) 農業(特に品種改良技術による野菜、果実、花卉園芸)
- (2) 畜産(養豚、養鶏)
- (3) 水産(養殖産業、沿岸漁業振興)
- (4) 林業(高級製材)
- (5) 環境関連技術製品
- (6) 生活関連技術製品
- (7) 医療技術、製品開発
- (8) 防災技術の商品化 etc.



3 大学協力事業化モデル

ODAによる市場調査、可能性調査、投融資協力のケース

(1) 本邦大学と途上国大学との「共同研究」

SATREPSの出口戦略としての大学と本邦企業によるビジネス化

(2) SEED-Netの共同研究事業化

ASEAN19大学との共同研究(企業からの研究費預託)

(3) 大学と民間とのジョイントによるビジネス学校、技術訓練学校等設立

SATREPS:
地球規模課題に対応する
国際科学技術協力



4 ケーススタディ(海外編)

インドネシア・ガジャマダ大学

2006年「産学地連携」

「地」は地方自治体



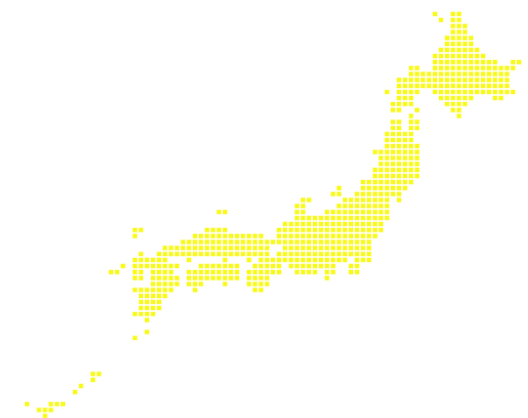
調査研究 + 産業 + 地域連携



「研究・社会サービスセンター」設立

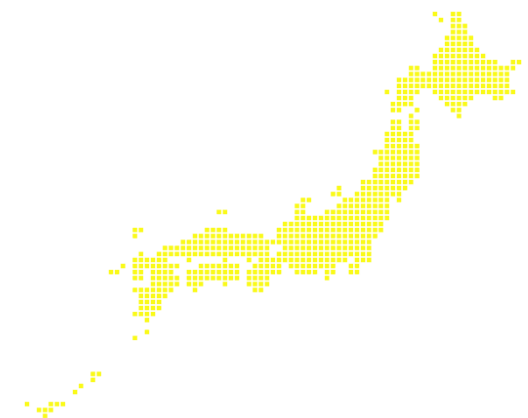


大学による「製品・研究開発・販売会社」の設立



5 地域公募研究(例)

- (1) 天然ゼオライトを用いた中小企業における貴金属を含む排水処理方法
- (2) 竹利用の環境適応型の建築資材開発
- (3) 廃棄物利用の低価格資材を用いた地震災害住宅の再建



6 学生の社会貢献(例)

- (1) ココナッツ利用の多角化
- (2) カカオ豆発酵工程導入
- (3) 手工芸品デザイン支援
- (4) 食品加工零細企業向け製造レシピ支援





外務省・文部科学省 共催シンポジウム
大学とODA ～援助の担い手の拡大に向けた新たなフロンティア～

大学が地域を巻き込む「パッケージ型大学協力事業」
ODA対象地域への大学の「知」の出口戦略を探る

おわり

2012年 7月 24日

株式会社 国際開発ジャーナル社
代表取締役・主幹 荒木 光弥